

I 施設の概要			施設コード		S01-01-01		
施設名			荒川さつき会館				
所在地			荒川八丁目16番13号				
部課名			総務部総務課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成元年	422,749	422,749		
		増改築①					
		増改築②					
併設施設							
竣工年月日		平成元年4月1日		区職員	その他		
供用開始年月日		平成元年6月1日	職員数	3	0		
構造		鉄筋コンクリート造	階層	2階			
面積		敷地面積	2,209.16㎡				
		延床面積	1,499.58㎡				
設置目的・経緯			人権施策の推進を図るとともに、地域住民の相互交流及び自主的活動を促進し、区民生活の向上に寄与する				
関連部署							
根拠法令等 設置条例			荒川さつき会館条例				
駐車場の状況		5台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		19台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ		



管理形態	その他	一部委託（管理業務・清掃業務）	期間	平成元年	から	
					まで	
事業内容	(1) 人権問題に係る啓発に関する事業 (2) 区民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に係る事業 (3) 区民の学習・文化活動及びスポーツの振興等に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業					
対象者	区内在住・在勤・在学の方（団体利用は事前の団体登録が必要）					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（施設予約のみ8時30分から）				
	休日	原則として、年末年始（12月29日～翌年1月3日）				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	年間利用者数（数）	27,780	31,178	34,511	34,717	35,000
	年間利用可能日数（日）	348	350	355	353	353
	年間団体利用件数（件）	1,372	1,560	2,116	2,104	2,200
	部屋別団体利用回転率（％）					
	体育室	67	80	84	86	86
会議室・講習室・視聴覚室・和室	8	8	16	16	16	
に指定等管理費						
備考	令和5年度は、登録団体の体育室利用件数が令和4年度に比べ150件以上増加したことにより、年間利用者数・年間団体利用件数が増加した。令和6年度は、シルバー大学の一時的な利用があり、利用数が増えた。令和7年度は、シルバー大学の利用が一部継続したことや、登録団体の利用が増加したことにより、前年度並みとなった。					

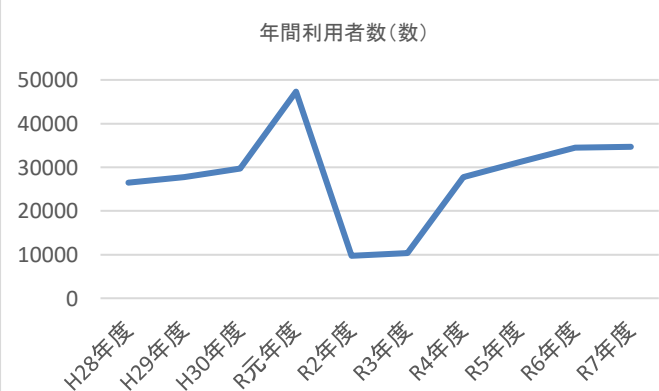
行政コスト計算書	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	29,458	20,063	▲ 9,395	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	13,617	15,395	1,778		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	2,246	1,020	▲ 1,226		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	335	345	10		使用料及び手数料	1,017	1,004	▲ 13		
		減価償却費	12,196	12,976	780		その他	203	210	7		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	1,220	1,214	▲ 6		
		賞与・退職給与引当金繰入額	4,217	3,315	▲ 902		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 60,849	▲ 51,900	8,949		
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)			62,069	53,114	▲ 8,955	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 60,849	▲ 51,900	8,949	
特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 60,849	▲ 51,900	8,949	
貸借対照表	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		1,857	1,233	▲ 624		
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0		
	固定資産	有形固定資産	1,146,004	1,133,028	▲ 12,976	賞与引当金	1,857	1,233	▲ 624			
		土地	1,085,884	1,085,884	0	その他の流動負債	0	0	0			
		建物	463,166	463,166	0	固定負債	12,680	9,362	▲ 3,318			
		建物減価償却累計額	▲ 403,046	▲ 416,022	▲ 12,976	特別区債	0	0	0			
		工作物等	10,233	10,233	0	退職給与引当金	12,680	9,362	▲ 3,318			
		工作物等減価償却累計額	▲ 10,233	▲ 10,233	0	その他の固定負債	0	0	0			
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	14,537	10,595	▲ 3,942			
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	1,131,467	1,122,433	▲ 9,034			
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,131,467	1,122,433	▲ 9,034			
		資産の部合計			1,146,004	1,133,028	▲ 12,976	負債及び正味財産の部合計			1,146,004	1,133,028

令和7年度は、土曜日の施設予約等を委託化したこと等により物件費が増加した。また、大規模な修繕がなかったため維持補修費が減少した。行政収入のその他は、自販機の設置使用料収入やレーザークラフト教室の参加費収入である。

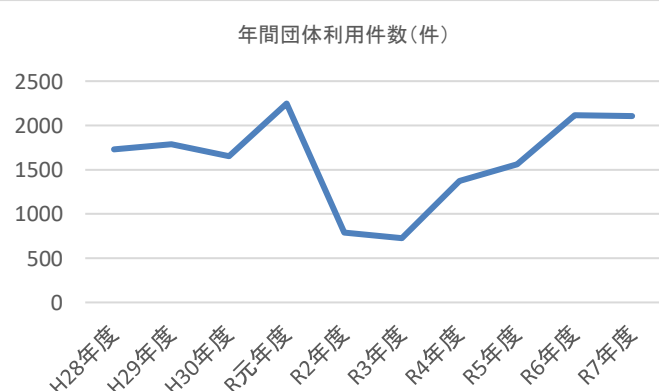
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	87	89	87	90.0	
	1㎡当たりコスト（円）	26,673	26,687	41,391	35,419	
	人にかかるコストの割合（％）	32	35	54	44.0	
	受益者負担比率（％）	3	3	2	1.9	
	利用者1人当たりコスト（円）	1,440	1,284	1,799	1,530	
	開館1日当たりコスト（円）	114,937	114,343	174,842	150,465	
備考	令和7年度は、主に給与関係費が減少したことにより、各コストが減少した。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 （計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	団体利用回転率	目標値 実績値				
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他（ ）				
管理形態の変更の推移	● 有 （変更内容： 令和7年度から土曜日の施設予約等を委託化した。） ○ 無					
利用者・地域のニーズ	人権啓発の推進のための拠点、地域住民の相互交流及び自主活動の場として必要性は高い。					
現状・課題	○人権施策推進の拠点及び地域住民の相互交流としての会館づくり 人権問題に対する垣根を取り払えるような会館づくりを行うとともに、地域住民の相互交流の場としての役割を果たしていく必要がある。 ○利用率の向上 施設の利用率向上に向けて、更なる有効活用を図る必要がある。 ○施設の老朽化 開館から36年以上経過し、施設の老朽化とともに、施設内の設備や備品も劣化してきている。					
課題に対する現時点での考え	○人権施策推進拠点として、人権問題を身近な問題として考えてもらえるような啓発・相談事業を引き続き行っていく。また、地域の交流拠点としての在り方について検討していく。 ○体育室以外の各室の利用率向上のため、PR方法などを検討していく。 ○施設の老朽化及び施設内の設備や備品の劣化については、改修や修繕、買替え等を計画的に行っていく。					
議会、利用者等からの意見	平成22年1定 さつき会館のふれあい館化について					



令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い利用者数が減少したものの、令和4年度以降は増加傾向にある。



令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い利用者数が減少したものの、令和4年度以降は増加傾向にある。

令和8年度 施設分析シート

I 施設の概要	施設コード	S01-01-02
---------	-------	-----------

Ⅱ 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から
				—	まで

事業内容	(1)男女平等の推進に係る講演会及び講習会の実施に関する事業 (2)男女平等の推進に係る図書及び資料の収集並びに利用に関する事業 (3)男女平等の推進に係る相談に関する事業(4)男女平等の推進に係る団体及び個人の相互交流に関する事業(5)地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に関する事業(6)前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業
------	---

対象者	一般区民、男女平等推進団体、区職員他
-----	--------------------

運営時間等	運営時間	午前 9 時～午後 1 0 時
	休日	年末年始、定期清掃日（年 4 回）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	年間利用者数（人）	51,990	43,626	50,829	44,560	45,005
	年間利用可能日数（日）	355	355	355	355	355
	年間貸出施設利用件数（件）	2,493	1,606	1,695	1,527	1,542
	相談件数（件）	279	204	247	249	273
指定管理に係る費用等						

備考	年間施設利用者数の推移について、コロナ禍において、4年度は、創作室が1年間PCR会場となったこと(5年度5月上旬終了)、6年度は、工事等による他施設からの利用団体の施設利用があったため、利用者数・貸出件数が増加した。7年度は、地下1・2階空調工事に伴う施設利用制限を実施したため利用が減少した。
----	---

Ⅲ財務諸表 (単位：千円)

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	24,038	24,128	90	行政収入	地方税等	0	0	0		
		物件費	27,645	34,552	6,907		国庫支出金	0	0	0		
		維持補修費	3,503	2,110	▲ 1,393		都支出金	0	0	0		
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0		
		補助費等	3,648	3,409	▲ 239		使用料及び手数料	3,562	3,404	▲ 158		
		減価償却費	26,882	28,009	1,127		その他	82	100	18		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,644	3,504	▲ 140		
		賞与・退職給与引当金繰入額	3,441	3,987	546		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 85,513	▲ 92,691	▲ 7,178		
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 4	▲ 4	0		
		行政費用合計(b)	89,157	96,195	7,038		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 85,517	▲ 92,695	▲ 7,178		
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 85,517	▲ 92,695	▲ 7,178				

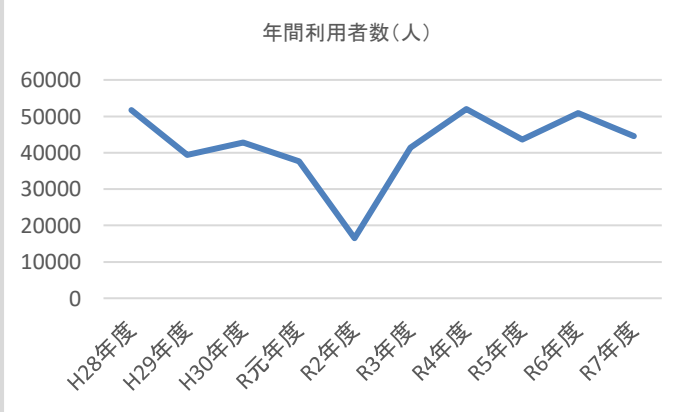
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額	勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,014	2,983	▲ 31
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	1,499	1,500	1
	固定資産	有形固定資産	874,455	865,290	▲ 9,165	賞与引当金	1,515	1,483	▲ 32
		土地	636,112	636,112	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	991,887	1,010,730	18,843	固定負債	17,851	17,264	▲ 587
		建物減価償却累計額	▲ 753,544	▲ 781,553	▲ 28,009	特別区債	7,504	6,005	▲ 1,499
		工作物等	7,279	7,279	0	退職給与引当金	10,347	11,259	912
		工作物等減価償却累計額	▲ 7,279	▲ 7,279	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	20,865	20,247	▲ 618
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	853,590	845,043	▲ 8,547
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	853,590	845,043	▲ 8,547
		資産の部合計	874,455	865,290	▲ 9,165	負債及び正味財産の部合計	874,455	865,290	▲ 9,165

備考	7年度は、地下1・2階ロビー空調工事を実施したことに加え、男女共同参画社会推進計画策定支援業務の実施及び計画冊子の印刷製本費等により物件費が増加している。また7年度は、上記空調工事等により施設利用制限を行ったため、行政収入（使用料及び手数料）が6年度と比して減少している。
----	--

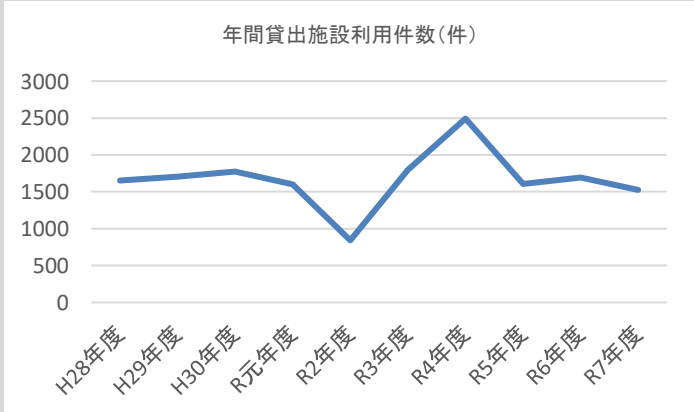
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	73	75	76	77.5	
	1㎡当たりコスト（円）	52,834	55,684	60,707	65,499	
	人にかかるコストの割合（％）	29	31	31	29.2	
	受益者負担比率（％）	6.0	5	4.0	3.5	
	利用者1人当たりコスト（円）	1,492	1,875	1,754	2,159	
	開館1日当たりコスト（円）	218,577	230,369	251,146	270,972	
備考	7年度は6年度に対し、1㎡当たりコストが4,792円増加、開館1日当たりコストが19,826円増加している。主な理由は、男女共同参画社会推進計画策定支援業務の実施及び計画冊子印刷製本費等により物件費が増加したことによる。また、利用者1人当たりのコストは405円増加している。これは、施設利用者数が減少したことによる。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 （計画名： ）						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設利用回転率（％）	目標値 実績値			36 38	35 30	33
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）						
管理形態の変更の推移	○ 有 （変更内容： ） ● 無						
利用者・地域のニーズ	男女共同参画に関する啓発・相談や男女共同参画の拠点として、区民相互の交流を推進する独立したコミュニティ施設を確保する必要性は高い。						
現状・課題	○事業や施設をよりPRできる方法の検討 令和4年度はPCR検査会場として利用したことに伴い、行政収入が増加した。これにより今まで施設を知らなかった人へのPRになった。最近では、今まで使用していた施設が工事で使えないという理由で利用する団体が増えている。区民相互の交流を推進するコミュニティ施設の役割も担っていることから、より広く区民に実施事業や施設をPRしていく必要がある。 ○施設の老朽化 有形固定資産減価償却率が年々上昇している。平成8年の開設から30年が経過し、経年劣化による修繕の必要箇所が増えているため、今後、大幅な維持補修費の増加が想定される。						
課題に対する現時点での考え	○施設を使用する新規団体について継続利用につなげていくとともに、利用件数・利用者数の増加を図るため、引き続き、新しい施策・PRを考えていく。 ○利用者の安全性や利便性を確保しながら、計画的に改修・修繕に取り組んでいくほか、老朽化に伴う緊急の修繕が必要になった場合は、迅速に対応していく。						
議会、利用者等からの意見							



4年度はがPCR会場となったこと、6年度は他施設工事に伴う利用団体の受入れによって利用者数が増加した。7年度は空調工事に伴う一部利用制限を行ったため利用者数が減少した。



4年度はがPCR会場となったこと、6年度は他施設工事に伴う利用団体の受入れによって利用件数が増加した。7年度は空調工事に伴う一部利用制限を行ったため利用件数が減少した。